

# 公務員特待生入試のポイント

## POINT 1. 2年間最大で授業料を136万円免除！

- ✓ 免除の対象は「授業料」のみ。
- ✓ 免除された授業料の返還義務なし（給付）。
- ✓ 奨学生期間は1年間。  
公務員特待生〔若干名〕：授業料全額免除（最大限 1,360,000 円）  
※2年次の特待生選抜は実施せず、公務員試験の採用内定通知を受けており、卒業後の進路が決定した者には、2年次の授業料を全額返還。

## POINT 2. 奨学生になれなくても、一般入試合格のチャンス！

- ✓ 奨学生として認められなかった場合も、一般入試の合格基準を満たしている者は、一般入試合格とします。

## POINT 3. 受験のチャンスは2回！受験料は1回分！

- ✓ 公務員特待生入試1期と公務員特待生入試2期をW受験する場合は、公務員特待生入試2期の受験料は無料です。奨学生試験のチャンスは2回！

## POINT 4. 本学資格特待生制度との併用可！

- ✓ 資格特待生制度との併用で、国公立大学より費用を抑えて学ぶことができる！
- ✓ 資格特待生制度による入学金半額免除および2年次公務員試験合格特典併用の場合

全学科	1年次納付金	2年次納付金	2年間合計	国公立大学との差異
公務員特待生	340,000 円	230,000 円	570,000 円	▲783,600 円
国公立大学(標準額)	817,800 円	535,800 円	1,353,600 円	—

- ✓ 資格特待生制度による入学金全額免除および2年次公務員試験合格特典併用の場合

全学科	1年次納付金	2年次納付金	2年間合計	国公立大学との差異
公務員特待生	230,000 円	230,000 円	460,000 円	▲893,600 円
国公立大学(標準額)	817,800 円	535,800 円	1,353,600 円	—

## POINT 5. 出題方法は大学入試センター試験に準拠！

試験科目	出題方法等
国語	「国語総合」の内容を出題範囲とし、近代以降の文章を出題する。
数学	「数学Ⅰ・A」は「数学Ⅰ」と「数学A(数と確率、整数の性質、図形の性質)」を総合した出題範囲とする。
英語	「コミュニケーション英語Ⅰ」に加えて「コミュニケーション英語Ⅱ」及び「英語表現Ⅰ」を出題範囲とする。